



# 神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和3年 6月25日

6月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

## 「3つの言葉」

校長 山内 清一

当日まで天候を心配しながらの体育大会でしたが、無事6月5日(土)に開催することができました。今年度は新型コロナウイルス感染対策のため保護者1名の観戦とさせていただきます。保護者の皆様の協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

限られた期間で密に気を配りながらの練習でしたが、子ども達は自律的に体育大会を作り上げようと精一杯、練習、競技、係活動に取り組みました。競技に参加する時も、仲間を応援する時も、クラス、学年の垣根を越えて声援する姿がありました。特に、3年生は、今年も最後まで諦めないで真剣に取り組む姿、学年全体で体育大会を盛り上げようとする姿勢など、下級生の良き見本となる素晴らしい結果を残してくれました。そして、たくさんの笑顔を見ることができたことが、もう一つの収穫だったと思います。「中学生らしく輝いている姿」を見ることができた体育大会。1・2年生には、来年に向けて、今年を上回る体育大会をつくり上げてくれることを期待しています。

さて、5・6月は「いのちの教育」月間です。本校でも道徳を中心に取り組んでいます。5月の全校朝会では、日々心がけてほしいことを3つ伝えました。

まずは「挨拶」です。相手の存在を尊重し、人権をもった人として認めるということにつながるのが「挨拶」です。人と人とのつながり、良い関係を築くために必要なものであり、携帯のメールやLINEでは代わりになりません。だからこそ、学校の良い雰囲気づくりに欠かすことのできないものなのです。

次は、「我慢」ということです。「我慢」は自分の置かれている状況を冷静に眺めることにつながります。また、自分自身の中で対話し、理性的に総合的な判断ができるようにもなります。

そして、最後に「思いやり」です。漫画家の故やなせたかし氏の言葉を引用しました。「弱い者をいたわろうとする心、それこそが私たちが人間である証拠なんです。私はいじめを決して許しません。いじめが起きないようにできるのは、君たち自身なのですよ」。これこそが、「思いやり」です。

学校は、たくさんの生徒がいますが、誰一人同じ人はいません。体育大会では学級が団結するために、互いに声を掛け合い、相手のことを考えて、我慢しながら皆と協力し、一人一人が悩みを克服したはずです。この経験を学校生活につなげていく必要があります。

「挨拶」「我慢」「思いやり」。この「3つの言葉」を意識し、一人一人の違いを認め、皆が大切にされる神明中学校をつくってほしいと思います。

## 《6月のアルバム》

### 《体育大会》 6月5日（土）



## 【7月の予定】

7 / 5(月) ~ 7(水)

修学旅行 (3)

5(月) ・ 6(火)

理科出前授業 (2)

10(土)

土曜授業 (ICT 公開) ・ 全校保護者会 ・ 数検

20(火)

終業式

21(水) ~ 8 / 27(金)

夏季休業日

21(水) ・ 26(月) ~ 30(金)

三者面談